

## 指定管理施設事業評価票(令和6年度分)

## 1. 施設所管課 教育委員会事務局 中央公民館(栗山公民館)

## 2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市西川運動場		
	所在地	日光市西川126番地2外		
指定管理者	名称	株式会社湯の郷、湯西川温泉旅館組合事業共同体		
	代表者名	株式会社湯の郷 代表取締役 赤羽 真一		
	住所	日光市西川481番地		
指定期間	令和3年4月1日	～	令和7年3月31日	4 年間
選定方法	非公募	評価実施年	4 年間のうち	4 年目
施設設置目的	地域住民の健康保持及び増進並びにコミュニティレクリエーション広場として設置			
主な実施事業	西川運動場の施設の維持管理、使用の許可及び運動場の運営に関する業務等			

## 3. 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 利用団体数	団体	100	57	100	92	100	87	100	103		
b 使用日数	日	100	51	100	75	100	68	100	82		
c 施設稼働率	%	50	25	50	30.1	50	27.2	50	32.8		
d サッカーワークショップ実施回数	回	7	0	7	1	7	6	7	10		
e 利用者の満足率	%	90	90.3	90	92.1	90	85.3	90	85.4		

## 4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入計 A	8,000,411	8,056,814	8,058,267	8,073,967	0
指定管理料	7,980,000	7,980,000	7,980,000	7,980,000	
利用料収入 C					
自主事業収入	20,392	76,792	78,247	93,015	
その他	19	22	20	952	
支出計 B	7,624,165	7,703,184	8,010,562	7,607,976	0
指定事業費	7,619,965	7,698,984	8,006,362	7,603,776	
内人件費 D	3,362,000	3,329,062	3,337,303	3,392,087	
内外部委託費 E	2,979,290	3,083,805	3,491,851	3,147,510	
自主事業費	4,200	4,200	4,200	4,200	
事業収支 A-B	376,246	353,630	47,705	465,991	0
人件費率 D/B	44.10%	43.22%	41.66%	44.59%	#DIV/0!
外部委託比率 E/B	39.08%	40.03%	43.59%	41.37%	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	

## サービス改善の状況

他施設との重複申込みによるキャンセルが多いため、県内のチームに対してホームページや電話による空き状況を提供する等の利用促進を図った。


## 5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サ ー ビ ス の 履 行 の 確 認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。 外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。 個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
	管理記録	協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。 業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
	連絡調整	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。 協定書に従い、各報告書等を市に提出している。	B	B
	緊急対応	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。 事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B
	総括	緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。 避難経路が適切に確保されている。	B	B
<b>「業務の実施体制」に関する評価【17項目】</b>				
② サ ー ビ ス の 質 の 評 価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
	利用者対応	事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
	事業運営	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B
	維持管理	利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B
	環境配慮	言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
	広報活動	事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B
	苦情等対応	施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
	利用者アンケート	事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	利用状況	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B
	総括	仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
	経費縮減	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
	収支状況	協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
<b>「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】</b>				
③ 安 定 性	経理事務	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	予算執行	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	経費縮減	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
	収支状況	要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B
	総括	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B
<b>「経費の収支等」に関する評価【4項目】</b>				
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価)			
	湯西川温泉旅館組合と連携し、県内外各地からサッカー大会、合宿等を誘致し、スポーツツーリズムによる観光の振興と地域の活性化に取り組んだ。			
	県内のチームに対してホームページや電話による空き状況を早期に提供し利用促進を図ったことにより、使用団体等の増加につながった。			
	(所管課評価)			
	他施設との重複申込みによるキャンセルがあったが、空き状況を早期に提供する等を行ったことにより、利用団体数や利用日数、施設稼働率は前年度より			
	増加した。管理、運営、利用促進に対する取組みについては協定に基づき適正に行われている。今後もサッカー大会や魅力あるイベントの開催、サービス			
	向上に努め必要がある。			
前年度総合評価		B(良好)	総合評価	B(良好)

※評価区分

評価基準 A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。

B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。

C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。

※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。

総括評価 A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上

総合評価 A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。

B(良好) = A、C以外

B(良好) = A、C以外

C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上

C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。